

・・・NPO 法人コウノトリ市民研究所10周年記念講演会・・・

「動物からのメッセージ ～人と自然のはざまから～」

自然界の報道写真家 宮崎 学 (MIYAZAKI MANABU)

2009年2月21日(土)じばさんTAJIMA 2Fホール 入場無料



■宮崎学プロフィール

1949年、長野県生まれ。自然と人間をテーマに、社会的視点にたった「自然界の報道写真家」として活動中。1978年「ふくろう」で第1回絵本にっぽん大賞、1982年「鷲と鷹」で日本写真協会新人賞、1990年「フクロウ」で第9回土門拳賞、1995年「死」で日本写真協会年度賞、「アニマル黙示録」で講談社出版文化賞受賞。他写真集・著書多数。最新刊「かわりゆく環境・日本生き物レポート」や「ツキノワグマ」「森の写真動物記」のシリーズが発刊中。長野県駒ヶ根市在住。

日本写真家協会会員。コウノトリ写真コンクール審査員。 ■森の365日 <http://www.owlet.net/>

< プログラム >

13:30 開会あいさつ
「市民研の歩みと豊岡盆地の自然」

13:50 研究発表

「豊岡盆地の生きものたち」

- (1)「豊岡盆地で暮す鳥」
- (2)「水路・小川にすむ魚」
- (3)「モクズガニフクロムシの発見」
- (4)「豊岡盆地の植物～絶滅種・新発見種～」

15:00 記念講演 宮崎学

「動物からのメッセージ～人と自然のはざまから～」

16:20 質問

16:30 閉会あいさつ

1998年に発足したコウノトリ市民研究所は、豊岡盆地にすむ生き物を、市民のみなさんとともに調査してきました。特に、たくさん子どもたちが調査に参加してくれました。この間、「自然」は私たちに様々なメッセージを送ってくれました。

人と自然が共に暮す地域づくりという取り組みは、まだ始まったばかりです。10年という区切りに、みなさんと共に豊岡盆地の自然について考えてみたいと思います。

多数ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

主催 NPO 法人コウノトリ市民研究所・コウノトリ生息地保全協議会